

# 伊藤ひろし



第21号

## 6月議会

6月2日から28日にかけて、定例議会が開かれました。今議会報では、主な議案に対する審議をご報告させていただきます。また、私たちの暮らす習志野市の市役所の財政状況(積立金)を他市と比較しながら、実情を共有して頂きたく掲載しました。

今議会では、「緊急雇用創出事業に係わる補正予算など」市長から提案された14議案を審議しました。また、市民から議会へ提出された陳情・請願「大久保図書館を除く4図書館への指定管理者制度の導入を検討に市民の意見を反映させる機会を求める」など14件を審議しました。

市議会として、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、その他政府機関へ意見書が提出ができる発議については、「子ども手当の廃止を求める意見書」など、5人の議員から提出された6つの意見書を審議しました。

## 一般質問

(議会開会ごとに毎回質問継続中・13回目の登壇)

市議会議員は、年度内に4回開かれる定例議会において、「一般質問」という、市長や教育長に対して、市政運営・教育行政の全般にわたる取り組みを質問できる機会が与えられています。習志野市議会では、1議員90分を上限に質問時間が与えられています。

私は、今議会で「交通安全対策、医療体制、市民協働、スポーツ振興、行政改革」を質問しました。またこの模様は、インターネットで議会中継の録画を配信しております。

### 議案概要や陳情・請願の審議結果、発議の詳細を知りたい方へ

○検索方法:習志野市ホームページの右側スクロールバーを中段まで下げる→画面左「市議会」をクリック→画面右上「お知らせ」をクリック→画面左「市議会最新情報」をクリックすると議案概要・発議案・議決結果の欄が出できます。

### 「伊藤ひろし」の議会質問の様子を見たい方へ

○検索方法:「習志野市議会 議会中継」検索→画面左側の会期日程6月11日(金)をクリック→画面右側スクロールバーを中段まで下げると「伊藤寛議員」映像欄が出できます。是非、ご覧になってください。

私個人としても一般質問の内容の議会報を後日、発行を予定しています。

○市政に対するご意見、税金の無駄遣いと感じるものについては、私にお寄せください。

習志野市袖ヶ浦 2-4-1-201 〒275-0021

メール:[hiroshi-ito@hiroshi-ito.com](mailto:hiroshi-ito@hiroshi-ito.com) 電話・FAX 047-454-8358

# ●6月議会の私の主な議案に対する審議

## ○議案第30号 緊急雇用創出事業 補正予算 2592万9千円 財源:100%国

内容:平成22年9月から23年3月までの7ヶ月間、失業者や学校卒業者を対象に、市内「製造業」10社程度への10人の雇用促進を図る。

事業予算の50%は、習志野市商工会議所による10人への全体研修費用に、残り50%を賃金へ。1人、1ヶ月15万円程度の賃金。

私の審議・賛成 / 議会・賛成多数

## ○議案第34号 障がい者福祉サービス事業所「花の実園」、民間事業者の管理運営

内容:秋津の総合福祉センター内の障がい福祉サービス所(18歳以上知的・身体・精神障がい者の方が日々通い、就労・生活支援を実施)「花の実園」の管理運営に指定管理者制度を導入。

今年度は、市役所正規職員12名、臨時採用職員11名の計33名の公務員で業務運営。

来年度から社会福祉法人などの民間事業者による業務運営が可能に。

私の審議・賛成 / 議会・賛成多数

## ○発議第1号 子ども手当での廃止を求める意見書

内容:子や親の世代にお金を借りて今の親を支援するというにはかならず、このまま恒久財源のめどが全くついていない状況において、恒久的政策として続けていけば、国の財政は完全に破綻してしまう。日本の子どもや孫の利益を考え、廃止するように国会、総理、政府へ要望する。

私の審議・賛成 / 議会・賛成多数

賛成理由:習志野市は、今年度「子ども手当支給額」半額で28億4千万円を計上しています。

国の予定方針の満額支給を実施すると、毎年56億8千万円になります。

なんと、市の予算の1割強の規模を占めることになります。

もし、習志野市が「子どもたち」や「子育て」に56億8千万円の使途限定がなければ、借金でまかなっている保育園・幼稚園・学校の耐震補強などの「施設改修」や「保育園」、「きらっ子ルーム」の整備、義務教育での授業予算、あるいは給食費や教材の無償化など、

政策の自由度を広げることの方が「子育て家族」や「子どもの安全確保」さらには、

習志野市の財政にも的確かつ有効と考えるからです。そもそも、国が財源不足の状況で、効果が薄いと思われる政策を続け、借金することが次世代に責任のある財政運営とは思いません。

## ○発議第6号 選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書

内容:制度が導入されることになれば、同一家庭内で親子、兄弟間の姓が異なることにもなり、家族の絆を弱めることにつながり、子どもに与える影響もはかり知れないものがあり、拙速な民法改正を行わないように国会、総理、政府へ要望する。

私の審議・賛成 / 議会・賛成多数

私の賛成理由:家族のあり方に重大な影響を及ぼし、家族崩壊・社会的混乱を招く恐れがあり、

制度を導入している国では、離婚率が高くなり、家族の絆も弱まっている実態で、

日本の伝統的な家系を壊す制度を導入する必要性を感じないため。

## ●習志野市と類似自治体の財政状況の比較(基金)(20年度決算)

	習志野市	佐倉市	流山市	浦安市
基金残高	51億309万	104億7761万	69億3758万	239億9214万
1人当たりの住民税	7万5711円	7万1372円	7万1857万	10万7729円
	平成11年度	平成20年度		

習志野市の基金残高(積立金) 80億6195万 → 51億309万 9年間で29億5886万減

習志野市は、基金を崩しながら、財政のやり繰りをしている現状にあり、更なる行政改革が必要な状況です。